

### ラグビーワールドカップ 2021 ニュージーランド大会における 報道用カメラ使用率でキヤノンが No.1 を達成

キヤノンは、ラグビーワールドカップ 2021 ニュージーランド大会<sup>※1</sup>の準決勝・3位決定戦・決勝の計4試合における報道用カメラ使用率調査において、プロフォトグラファーの使用率が約75%<sup>※2</sup>となり、No.1を達成しました。決定的瞬間を捉えるプロフォトグラファーを支え、大会の成功に貢献しました。



数多くの撮影で使用された「EOS R3」



決定的瞬間を狙うフォトグラファー

プロフォトグラファーの世界において、カメラメーカーには、先端技術や最高クラスの性能を備えた機材に加え、きめ細やかなサービスやサポートの提供などの「総合力」が求められています。

これまでキヤノンは、さまざまなスポーツイベントの舞台裏で、撮影機材のトラブルなどにより決定的瞬間を逃さないよう、プロフォトグラファーの業務を止めない「ゼロ・ダウンタイム」を提供すべく、カメラ・レンズのメンテナンスや技術サポートなどを通して、報道の現場を支えてきました。その結果、ラグビーワールドカップ 2021 ニュージーランド大会（第9回女子ワールドカップ）の準決勝・3位決定戦・決勝の計4試合における報道用カメラ使用率調査において、プロフォトグラファーの使用率が約75%となり、No.1を達成しました。

キヤノンは、これからもプロフォトグラファーから信頼されるサービス・サポートに取り組むと同時に、多くの方に親しまれる魅力的な製品を提供し続けることで、写真・映像文化の発展に貢献していきます。

#### <カメラサービスブースを利用しているプロフォトグラファーのコメント>

##### ゲッティイメージズ社 Greg Bowker 氏

「EOS R3」や「EOS R5」、「EOS-1D X Mark III」などを手に、次々に行われるラグビーワールドカップ 2021 の試合を撮影しました。予測不可能なニュージーランドの環境においても、信頼あるキヤノンのカメラによって、どんな決定的瞬間でも自信をもって捉えることができました。

##### ロイター社 David Rowland 氏

キヤノンのサポートは私にとって、とても大きな存在です。親身で知識豊富なキヤノンのスタッフは、センサーのクリーニングや、ワイヤレスファイルトランスミッターの設定などの手助けをしてくれました。そのおかげで、カメラからスムーズにロイターのデスクへファイルを送れるようになり、世界中のクライアントが画像を即座に利用することができました。

※1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年に予定されていた大会が2022年に開催延期。

※2. 計4試合の平均。キヤノン調べ。